

(特非) EnVision環境保全事務所

地理空間情報を使った、地域版SDGs達成に向けた生態系サービス評価のシナリオづくりと普及啓発 —Evidence1に基づいた計画、評価、モニタリングの主流化のために—

活動地域  北海道



個別実習にてソフトを操作する参加者

課題

生物多様性や生態系サービスの保全のための、「意識決定が地域単位で行われるための資源」、「データや情報を利用するためのツール」、「人材」が不足していること。

目標

生物多様性や生態系サービスの保全のための「人材育成とネットワーク形成」、「データや情報を利用するためのツール」、「情報資源」が充実すること。



今後の展望

今後も可能な限り個別実習を続け、サポートなしでも各自のデータを活用することができる組織を増やすこと（個別実習の実施）。また、技術が定着している組織が複数ある地域を増やすこと（講習会の実施）。

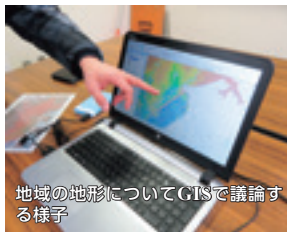
ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

活動内容と成果

昨年度、本助成活動にて釧路でのGIS講習会を開催した。今年度は、実際にGISを組織で活用していく上でハードルとなる「時間」や「技術」という壁を払拭し、技術の定着を目指すため、「個別実習」を重点的に実施した。個別実習では、組織の課題や目的に合わせたサポートを意識した。操作を何度か繰り返しGISを体感しながら理解すると、イメージしていたよりもハードルは低く、面白いと感じる方が多い。訪問組織の中には、作成図を行政資料として活用を始めている組織も複数ある。



地域の地形についてGISで議論する様子

個別実習実施組織 **6組織**

シナリオ案 **3個**

今年度計画の達成度 **70%**

目標達成度 **85%**

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

「ハードルが高い」イメージのGISソフトを活用した個別実習を始めるまでのきっかけを作ること。

■工夫した点

GIS以外の理由で打ち合わせの機会を作るなど、GISの話題を「おまけ」とすることで開始のハードルを下げた。

〒060-0809
北海道札幌市北区北9条西4丁目5-2

電話：011-726-3072
E-mail：kudo@env.gr.jp
HP：http://www.env.gr.jp/

